

インフルエンザ週報 2015年 第15週 (4月6日～4月12日)

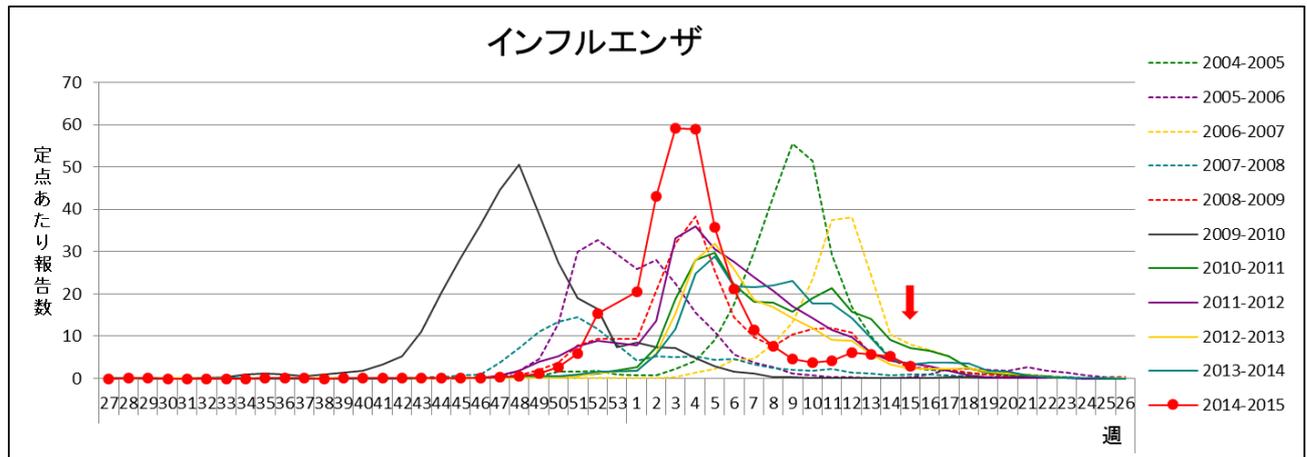
岡山県は『インフルエンザ注意報』発令中です

➤ 岡山県の流行状況

- インフルエンザは、県全体で238名(定点あたり5.18 → 2.83人)の報告があり、前週より減少しました。
- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が1施設でありました。
- インフルエンザによる入院患者2名の報告がありました。

【第16週 速報】

- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が5施設でありました(4月13日～16日)。



※ インフルエンザは、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、第27週～翌年第26週で、グラフを作成しています。

インフルエンザは、県全体で238名(定点あたり5.18 → 2.83人)の報告があり、前週より減少しました(84定点医療機関報告)。

地域別では、備中地域(6.08人)、倉敷市(5.63人)、備北地域(3.83人)の順で定点あたり報告数が多くなっています。また、真庭地域でわずかに患者の増加がみられましたが、その他の地域では減少しました。

流行のピークは過ぎ、患者は減少してきているものの、新学期が始まり小学校での臨時休業が報告されるなど、依然として患者の発生は続いています。流行は、まだしばらく続くと思われ、岡山県はひきつづき「インフルエンザ注意報」を発令し、注意喚起を図っています。『外出後や食事前の手洗いを徹底する』『人混みを避け、人混みに入るときはマスクを着用する』『十分な睡眠を取る』など、感染予防に努めてください。

**◆インフルエンザは依然として流行期にあります。
ひきつづき感染予防に努めましょう。**

【 予 防 】

- * 外出後は手洗いをしましょう。アルコールを含んだ消毒剤で手を消毒するのも効果的です。
- * 人混みでは、マスクを着用しましょう。
- * 十分な睡眠をとり、バランスの良い食事を心がけて、抵抗力をつけましょう。
- * 室内では加湿器を使うなど、適度な湿度(50～60%)を保ちましょう。

【 かかったかな?という時には 】

- * 早めに医療機関を受診しましょう。
- * 周りの人にうつさないように、「咳エチケット」を心がけましょう。
- * 水分を十分にとり、安静にして休養をとりましょう。

1. 地域別発生状況

前週からの推移 (単位: 人)

地域名	発生状況		推移	地域名	発生状況		推移
岡山県全体	患者数	238	↓	備 中	患者数	73	↓
	定点あたり	2.83			定点あたり	6.08	
岡山市	患者数	18	↓	備 北	患者数	23	↓
	定点あたり	0.82			定点あたり	3.83	
倉敷市	患者数	90	↓	真 庭	患者数	8	↑
	定点あたり	5.63			定点あたり	2.67	
備 前	患者数	18	↓	美 作	患者数	8	↓
	定点あたり	1.20			定点あたり	0.80	

【記号の説明】 前週からの推移: 2倍以上の減少 ↓, 1.1~2倍未満の減少 ↓, 1.1未満の増減 →, 1.1~2倍未満の増加 ↑, 2倍以上の増加 ↑

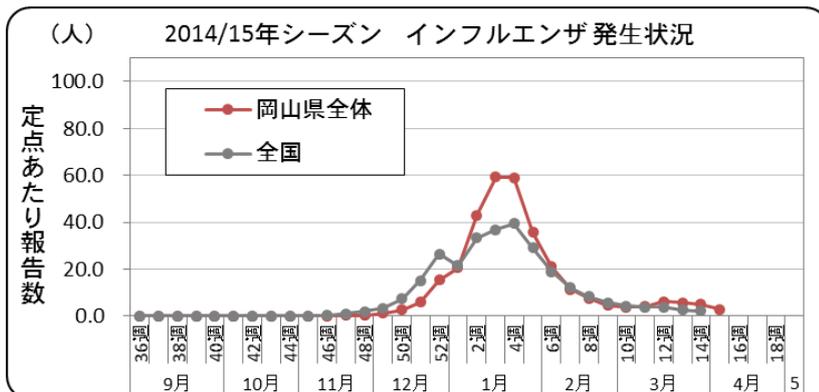
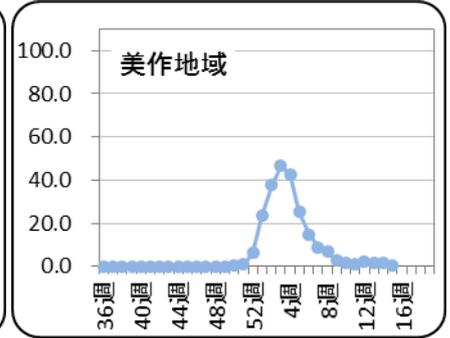
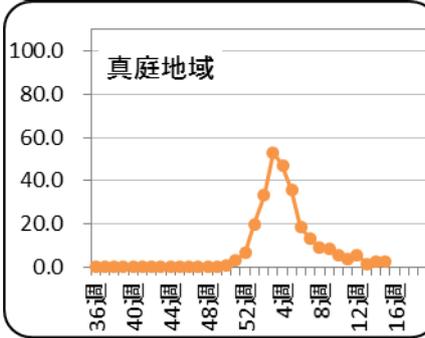
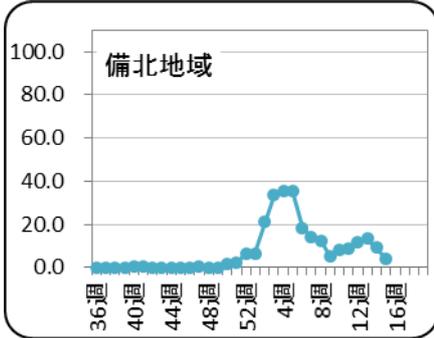
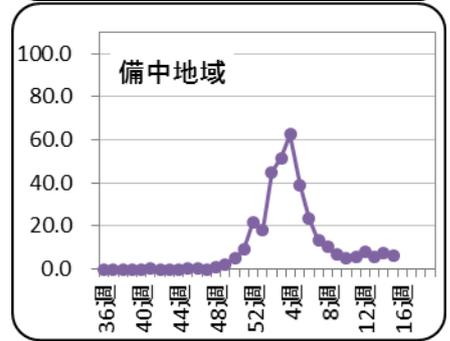
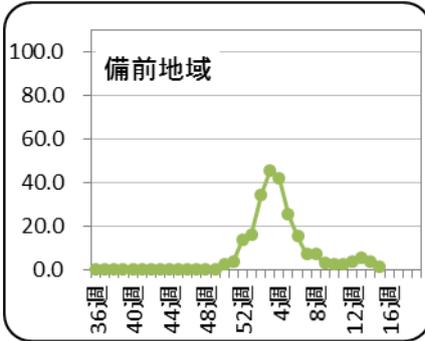
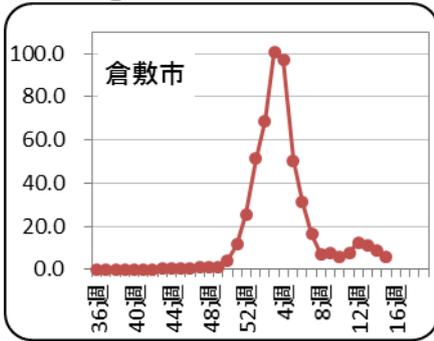
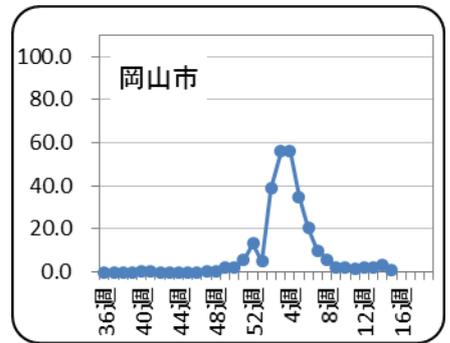
インフルエンザ感染症マップ



<インフルエンザ発生レベル 基準>

レベル3		レベル2
開始基準値	終息基準値	基準値
30	10	10以上 30未満

レベル1	報告なし
基準値	基準値
0< 10未満	0



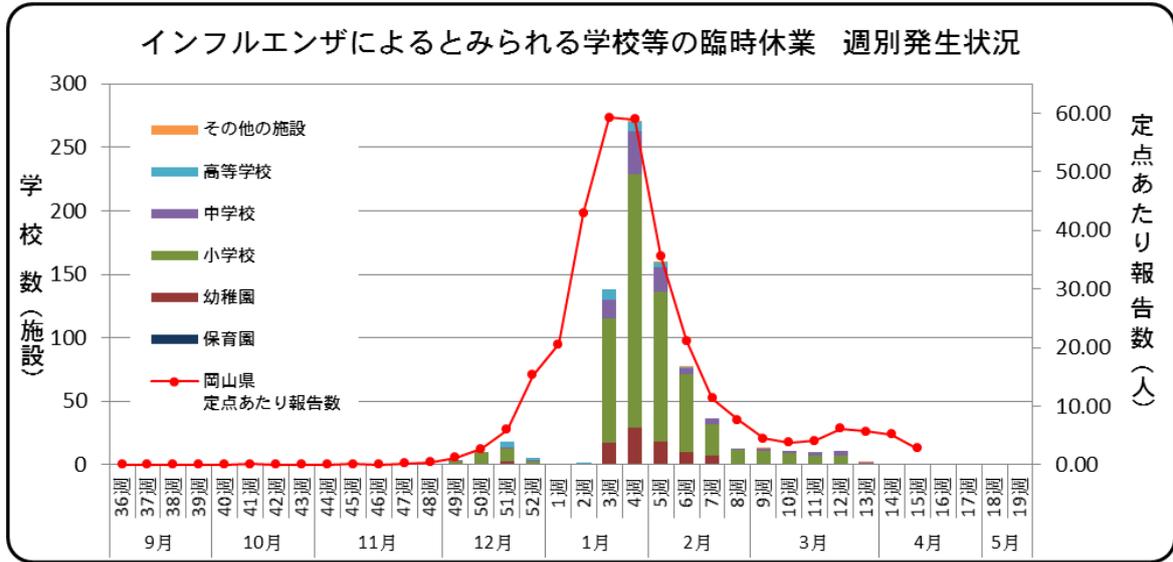
全国の第14週(3/30~4/5)集計によると、全国の定点あたり報告数は2.14人であり、10週連続で減少しました。都道府県別では、岡山県(5.18人)、高知県(4.92人)、沖縄県(4.90人)の順で定点あたり報告数が多くなっており、41都道府県で前週より減少がみられました。

4. インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数

インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業が1施設でありました。

【第15週 臨時休業施設数】

▽矢掛町 1



1) 有症者数・欠席者数および臨時休業措置の内訳

地域名*	有症者数		うち欠席者数		施設数合計		休園・休校数		学年閉鎖施設数		学級閉鎖施設数		初発年月日
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	
岡山県全体	3	12408	0	9670	1	786	0	17	1	197	0	572	H26.10.21
岡山市	0	5037	0	3778	0	298	0	2	0	41	0	255	H26.12.1
倉敷市	0	2992	0	2444	0	165	0	3	0	25	0	137	H26.10.21
備前地域	0	747	0	627	0	61	—	—	0	23	0	38	H26.12.9
備中地域	3	1635	3	1303	1	130	0	5	1	53	0	72	H26.12.8
備北地域	0	351	0	196	0	14	0	1	0	7	0	6	H27.1.16
真庭地域	0	255	0	202	0	22	0	2	0	12	0	8	H26.12.16
美作地域	0	1388	0	1120	0	96	0	4	0	36	0	56	H27.1.13

* 地域名は、保健所管轄地域を表しています。

2) 臨時休業施設数の内訳

第15週：1施設

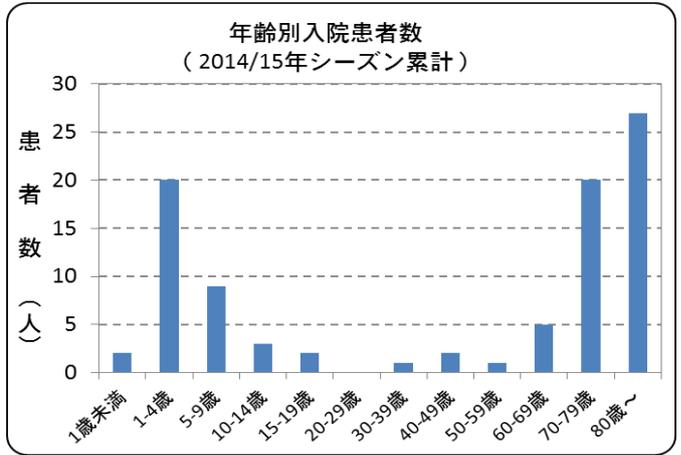
累計：787施設

	保育所		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		その他	
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計
施設数	—	—	0	86	1	576	0	95	0	25	0	5

5. インフルエンザによる入院患者報告数（県内基幹定点 5 医療機関による報告）

インフルエンザによる入院患者の報告は、2名（1歳未満 1名、70～79歳 1名）の報告がありました。

幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患をもつ人、免疫機能が低下している人などでは重症化することがありますので注意が必要です。幼児ではまれに脳炎を起こすことがあります。水分をとった後すぐ吐いてしまう、元気がない、意識がはっきりせずとうとうとしている、けいれんを起こす、このような症状がみられるときは、すぐに医療機関に相談しましょう。



【第 15 週 入院患者報告数】

年齢	1歳未満	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計*
入院患者数	1										1		2
ICU入室													
人工呼吸器の利用													
頭部CT検査(予定含)													
頭部MRI検査(予定含)													
脳波検査(予定含)													
いずれにも該当せず	1										1		2

*重複あり

【2014年9月1日以降に入院した患者の累計数】

年齢	1歳未満	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計*
入院患者数	2	20	9	3	2		1	2	1	5	20	27	92
ICU入室											3		3
人工呼吸器の利用													
頭部CT検査(予定含)		5								2	4	3	14
頭部MRI検査(予定含)		1		1							3		5
脳波検査(予定含)		1									1		2
いずれにも該当せず	2	15	9	2	2		1	2	1	3	14	24	75

*重複あり

